

目次

□巻頭言 スラリー輸送と建設の機械化	川島俊夫	1
耶馬溪ダム工事の仮設備計画	高島勲	3
中国・五強水力発電所の施工計画	篠原淑郎	10
ダム堆砂の水力輸送に関する実験の概要	岡田剛二	19
橋梁工事における計測管理システム	大松竹本	24
長大急角度斜坑における コンクリート運搬・打設工法“ITP工法”	万木正弘 内藤土	29
香港地下鉄における 圧気シールドトンネルの施工実績	相川博嗣	34
上越新幹線新後閑高架橋の施工 —TL 押し工法による	大石杉橋 追松田本 成豊道	39

グラビヤ—昭和55年度除雪機械展示・実演会

昭和55年度除雪機械展示・実演会開催		45
--------------------	--	----

□随筆 1枚の絵	五十嵐 邁	48
中距離土工機械の走行路面凹凸の パワースペクトル解析	藤本義二 西ヶ谷忠 飯盛洋	50

最新的大型クレーン —デマーグ CC4000型(650t ぶり) クローラクレーン	中川憲嗣	57
--	------	----

□新刊図書紹介		
建設機械等損料算定表(昭和56年度版)		60
橋梁架設工事の積算(昭和56年度版)		60
揚排水ポンプ設備技術基準(案)解説		61
建設機械施工技術検定テキスト(昭和56年度版)		61

□新機種ニュース	調査部会	62
----------	------	----

□文献調査		
油圧掘削機の視界を含めた安全対策	文献調査委員会	66

□整備技術		
騒音に関する復習(つづき)	整備技術部会	68

□建設機械化研究所抄報 <129>		
366. 三菱 MF90型アスファルトフィニッシャー		70

□統計		
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移	調査部会	72

行事一覧		73
------	--	----

編集後記	(高橋・福来)	76
------	---------	----

—国産建設機械主要諸元表(昭和56年度版)集録—

◀表紙写真説明▶

車体屈折式  
川崎マカダムローラ K-10  
川崎重工業株式会社

本機は、舗装精度が要求される近年の大規模工事に対処するため川崎重工業が昭和53年から開発を進めてきた最新鋭機であり、次のような特長を有する。

- ① 直接噴射式エンジンの採用により低燃費が図られている。
- ② 環境対策およびオペレータ疲労対策として十分な防振、防音処置がなされている。
- ③ 走行は全油圧式を採用、特殊バルブの働きにより発進、停止が非常にスムーズである。
- ④ エンジンを運転席斜め下に横向きに設置したユニークなパワードレインレイアウトの開発により視界は広く、安全性は抜群である。
- ⑤ 安全性向上のために独立ブレーキペダルを設置、車両停止は走行レバーのみでなくフットブレーキも可能である。
- ⑥ 車体の左右両端にそれぞれ運転席を装備してあるため正確な側面転圧作業が可能である。

◀主な仕様▶

総重量	11,300 kg
締固め幅	2,000 mm
出力	63 PS/1,900 rpm